

報道関係各位

2026年3月24日
ビジネスエンジニアリング株式会社

【新刊】『儲かるモノづくりのためのPLMと原価企画<実践編>』発売 AI×BOM×BOPで現場の実務と経営の数字をつなぐ、次世代PLM戦略を提言

ビジネスエンジニアリング株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:羽田 雅一、以下「B-EN-G」)は、株式会社プリバクト(代表取締役:北山 一真)および株式会社図研プリサイト(代表取締役社長:小田 泰久)との共著による新刊『儲かるモノづくりのための PLM と原価企画<実践編> AI×BOM×BOP による次世代PLM。データモデルが導く「モノづくり新戦略」』が、2026年3月18日(水)に東洋経済新報社より発売されましたことをご知らせいたします。本書は、2019年に刊行され多くの現場で支持された前著の続編として、DXやAI、ERP連携といった最新トレンドを踏まえ、PLMを「本当に使える経営基盤」にするための具体的なノウハウを凝縮した一冊です。

URL <https://str.toyokeizai.net/books/9784492962619/>

■本書の3つのポイント

- ・ 「データモデル」を徹底解剖
PLMの心臓部であるBOM(部品表)やBOP(工程表)の構造を深掘り解説。BOMのツリー構造とBOPのネットワーク構造をいかに同期させ、システム要件の迷走を防ぐかという「データモデル」の本質を提示します。
- ・ 最新トレンドへの対応
製造業における「AI活用」や、PLMとERP(基幹システム)の高度な連携手法など、現代のモノづくりに不可欠な視点を網羅しています。
- ・ 「儲かる」ための経営視点
単なる設計データ管理に留まらず、プロダクト損益が見える化し、経営の意思決定に直結させる手法を提示します。

■書籍概要

- ・ 書名:『儲かるモノづくりのための PLM と原価企画<実践編> AI×BOM×BOP による次世代 PLM。データモデルが導く「モノづくり新戦略」』
- ・ 著者:北山 一真(株式会社プリバクト 代表取締役)
- ・ 小田 泰久(株式会社図研プリサイト 代表取締役社長)
- ・ 若林 賢(B-EN-G プロダクト事業本部 プロダクトコンサルティング部 副部長)
- ・ 発売日:2026年3月18日(水)
- ・ 定価:2,200円(税込)
- ・ 発行元:東洋経済新報社
- ・ ISBN:9784492962619



書影

プレスリリース 2026年3月24日

【お問い合わせ窓口】ビジネスエンジニアリング株式会社 経営統括本部 広報

電話:03-3510-1619 / E-mail:kouhou@b-en-g.co.jp

*本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。

■著者プロフィール

- ・ 北山 一真(きたやま かずま) 株式会社プリバクト 代表取締役



IT系コンサルティング会社、製造業系コンサルティング会社ディレクターを経て、プリバクトを設立。競争力ある製品／儲かる製品の実現のため、設計と原価の融合をコンセプトにした企業変革に取り組む。設計高度化、設計ナレッジマネジメント、原価企画、原価見積、開発購買、ライフサイクルコストリング、意思決定管理会計、AIを用いたコストテーブル、BOM、PDM、PLMなどのコンサルティングを手がける。著書に『赤字製品をやめたら、もっと赤字が増えた！』(日刊工業新聞社)、『プロフィットブルデザイン iPhoneがもうかる本当の理由』(日経BP社)、『儲かるモノづくりのためのPLMと原価企画』(東洋経済新報社)他多数執筆。

- ・ 小田 泰久(おだ やすひさ) 株式会社図研プリサイト 代表取締役社長



2000年株式会社図研に入社し、電機製造業向けのPDMおよび3Dデータ活用ツールの販売に従事。2011年に発表した自社開発PLMソフトに製品企画段階より携わり、機械・電機・重工業・医療・住設など幅広い製造業へのPLMシステム構築による改革提案およびプロジェクト責任者を担当。ビジネススピード向上を目的とした2016年の分社化(図研プリサイト設立)後はビジネスエンジニアリング社を含むビジネスパートナーとの協業促進による提供ソリューションの拡充に心血を注ぐ。2024年より現職へ就任。

- ・ 若林 賢(わかばやし まさる) ビジネスエンジニアリング株式会社 プロダクト事業本部プロダクトコンサルティング部 副部長



IT業界で30年以上、製造業向けソリューションに携わる。設計(3D CAD)と製造管理(ERP)の両領域を経験し、40代以降はBOM(部品表)を核に部門間の情報断絶を解消する役割に注力。現在はERPメーカーに所属する異色のPLMエバンジェリストとして、BOM/BOPを「構造の問題」として捉え直す視点を、セミナーや執筆を通じて発信している。

■ビジネスエンジニアリング株式会社について

ビジネスエンジニアリングは、製造業を中心としたお客様のデジタル変革をITで支援しています。IT企画からシステムの構築、導入、運用にわたるコンサルティングおよび支援サービス、ならびに自社開発のパッケージソフトウェア「mcframe」の販売、導入で豊富な実績を有しています。また、基幹業務システム(ERP)やサプライチェーン(SCM)、IoT等で蓄積されたデータを活用して、システムの高度化やカイゼン活動をお手伝いしています。中国(上海)、タイ(バンコク)、シンガポール、インドネシア(ジャカルタ)、アメリカ(シカゴ)の5ヶ所に海外子会社を有し、海外進出企業に対しても、日本と現地でよりいながら製品やサービスを提供し、お客様の経営課題を解決しています。

ビジネスエンジニアリング株式会社の詳細は <https://www.b-en-g.co.jp/> をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ窓口】

ビジネスエンジニアリング株式会社 プロダクト事業本部 営業本部
電話:03-3510-1616 / E-mail: mcframe@b-en-g.co.jp